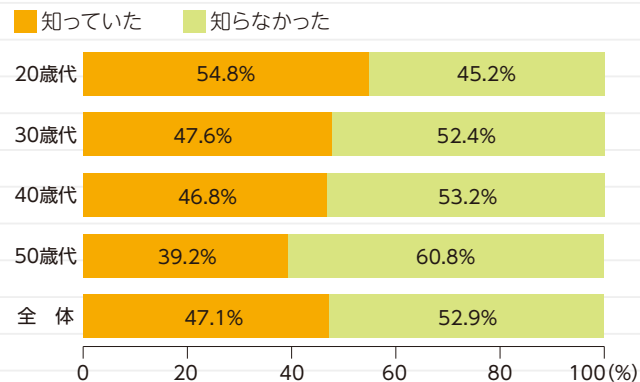


グラフで見る

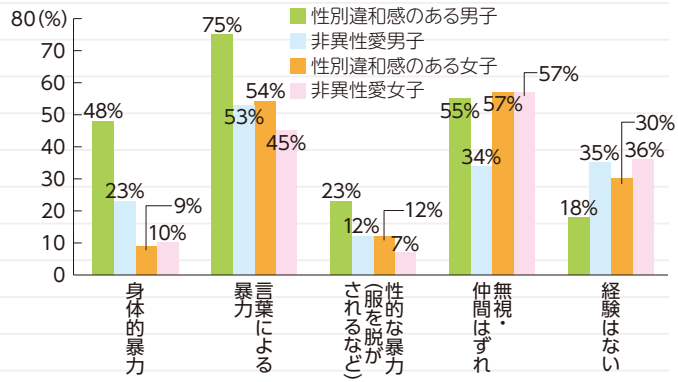
# LGBTへの理解・関心に対する統計

## ●「LGBT」という言葉を知っていたか



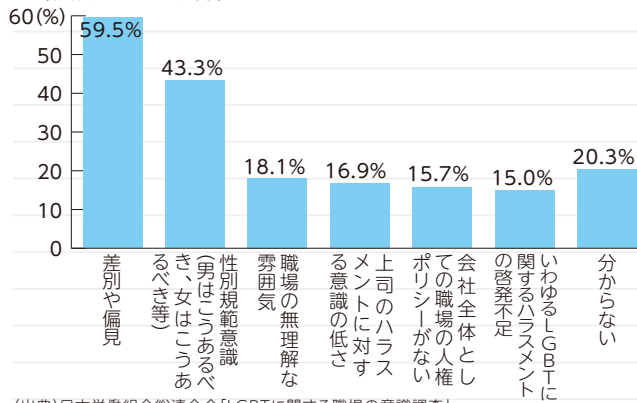
(出典)日本労働組合総連合会「LGBTに関する職場の意識調査」(2016年6月30日～7月4日)

## ●いじめや暴力を受けた経験



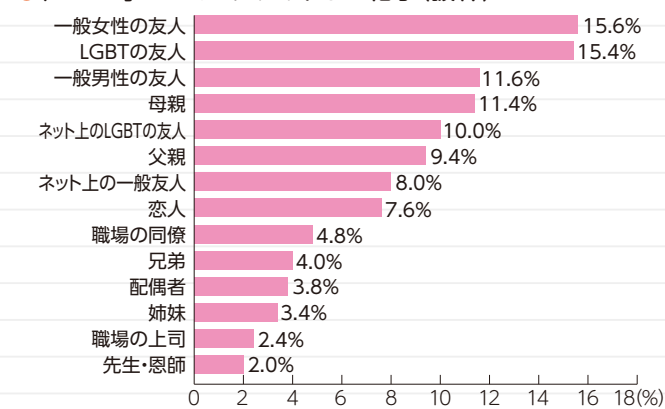
(出典)いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン「LGBTの学校生活に関する実態調査(2013)」

## ●職場における「LGBT」に関するハラスメントの原因(複数回答/抜粋)



(出典)日本労働組合総連合会「LGBTに関する職場の意識調査」(2016年6月30日～7月4日)

## ●「LGBT」をカミングアウトした相手(抜粋)



(出典)電通ダイバーシティラボ(DDL)「LGBT調査2015」

LGBTの認知度について、20歳代は約5.5割、50歳代は約4割と若い世代の方が高く、関心も高いと思われます。また、職場でのLGBTに対する偏見や差別、男はこうあるべき、女はこうあるべきと考える人もまだ多いことが分かります。学校でのいじめや暴力でも、特にLGBTの男子は受けた経験が多いようです。カミングアウトについても会社の上司や先生には話しにくいことがうかがえ、皆さんの正しい知識と理解が望まれます。



# 誰もがありのままの自分でいられるような、社会をめざしましょう。



## LGBTをカミングアウトされたあなたへ...

勇気を出し、あなたを信頼してカミングアウトしてもらったことに「言ってくれてありがとう」の感謝とともにありのままを受け入れましょう。そして、カミングアウトを受けた際に、本人の同意や許可無く勝手に第三者に伝えることを「アウトティング」と言います。この行為はプライバシーの侵害になります。

# みんなで変えていこう! 「LGBT当事者が困っていること」

LGBTの人は、あなたの周りに「いない」のではなく「いない」だけなのではないでしょうか。当事者は、自分がLGBTであることを言ったら、どう思うのだろう、なんて言われるのだろう...、そういった不安や悩みを抱えています。また、日常生活の上でも困っていることも多いようです。



親族などから「孫の顔が見たい」「彼氏は?」「彼女は?」「結婚は?」と聞かれても答えられないし、これはセクハラです。



役所や病院等で戸籍上の名前を呼ばれる違和感と、見た目の違いによる周囲の反応が気になる。



LGBTを隠して働く辛さとそれが公になった時の反響など、いつも不安を抱えている。



法的に婚姻が認められないことや、戸籍上の性別を変えるハードルも高い。

## LGBTに対する社会のうごき

ダイバーシティが注目される中、国や自治体、企業においてLGBTへの対応や取り組みが進んでいます。

### ■大阪市淀川区LGBT支援事業

全国に先駆けLGBT支援宣言を行い、職員研修や教職員ハンドブック作成、市民への啓発、学校園へLGBTに関する絵本等を配架するなど、支援事業を実施している。

### ■パートナーシップ制度の導入

自治体によって条件や名称、適用範囲は異なるが、同性カップルが書類を提出すると、「パートナーシップ証明書」が発行される。この取り組みが徐々に広がっている。

### ■申請書類等の性別記載不要(大阪府ほか)

法令で定められているものや合理的理由があるものを除き、性別記載が不要の自治体が徐々に増えている。

### ■企業の福利厚生の見直し

育児休暇、健康保険制度、結婚祝い金など、同性パートナーにも適用している会社がある。

### ■文部科学省は、LGBTなどの児童生徒にどう対応すべきか「教職員向けパンフレット」を公表

## お役立ち情報「相談窓口」

### 大阪市人権啓発・相談センター

☎06-6532-7830(なやみゼロ)  
FAX06-6531-0666  
時間 平日(月～金) 9:00～21:00、土日・祝日 9:00～17:30  
当事者(本人)、そのご家族や職場からの相談にも応じています。

### 淀川区LGBT電話相談

☎0570-009-918  
時間 第1～4水曜日 17:00～22:00  
当事者(本人)はもちろん、どなたからの相談も受けます。

### 一般社団法人社会的包摂サポートセンター「よりそいホットライン」

☎0120-279-338 時間 24時間365日  
電話相談の専門員がお待ちしています。音声ガイダンスが流れます。LGBTの専門回線もあります。携帯電話(PHS)、公衆電話からもつながります。

### NPO法人 QWRC(くおーく)

☎06-6585-0751 時間 毎月第1月曜日 19:30～22:30  
当事者やその家族、友人にむけて、電話相談を行っています。



# Diversity Human Interview

## カミングアウトは信頼の証 話してくれてありがとう……

この世は男と女だけ？いいえ、13人に1人は、L(レズビアン)、G(ゲイ)、B(バイセクシャル)、T(トランスジェンダー)などの性的マイノリティ(少数者)だと言われています(電通調査)。いろんな性のあり方を社会が包み込めたなら、毎日がもっと豊かになるかもしれません。今回は、大阪府立大学 大学院教授・東優子さんに「多様な性についての考え方」や「カミングアウトの受けとめ方」などをうかがいました。

**東優子さん** 大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科 教授

### 思春期のLGBTには悩みがしばしば

—LGBTの子どもたちは、どんな時に「生きづらさ」を感じていますか？  
 「あの人、オカマちゃう？」「同性愛ってキモいよね」。面と向かって言われなくても、そんな心ない会話が聞こえてくるたびに、当事者は傷ついています。子ども時代に、家庭にも学校にもそうした思いを共有できる友達、相談できる大人が周囲にいないということは、「この世のどこにも味方がいない」ぐらいの孤独感を生むのではないのでしょうか。  
 特に思春期は、心身ともに大きく変化する年頃。人間関係も複雑になります。勇気を出して「好き」と告白した同性に「キモい」とか言われたら……人生に絶望するぐらいのショックを受けるかもしれない。

ません。  
 また、性別違和のある「T」の子どもの場合は、男女別の制服、トイレや更衣室を使用すること自体がとらわれて不登校になったり、成績不振やドロップアウト(退学するなど)につながることもあります。

—心と身体の性が違う「T」の人が、好きになるのは、どんな性ですか？  
 いろいろですね。同性を好きになる人も、異性を好きになる人も、その両方を好きになる人もいますよ。  
 —てっきり、心が男性なら、好きになるのは女性だと思っていました。  
 それを異性愛者と呼ぶわけですが、「性自認(心の性)」と「性的指向(誰を好きになるか)」は別モノですから、「T」にだって異性愛者も同性愛者も、両性愛者もいて不思議はないわけです。こういう

うとわかりにくくなるかもしれませんが、「T」であって「G」である、という人もいる、ということなんです。

また、「T」については「本当の心が間違った身体に閉じ込められた状態」と説明されることもよくあると思うのですが、実は、身体違和の程度も人によって様々。誰でもホルモンや手術で身体を変えたいと思っているわけではないのです。  
**人間の性、何でもアリ！**  
 —当事者といっても、それぞれ違う……  
 世間や一部の「専門家」は、ステレオタイプな(型)にはまっている(当事者像を語りがちですが、「T」に限らず、「L」も「G」も「B」も、あるいはそれ以外にも、みんなそれぞれに違います。性というのは、実に多様でカラフルなものなんです。



—少数派というだけで差別されるなんて「数が少ない」と、存在を示しにくい、声を上げにくいという問題がありますね。これに加えて「性的マイノリティ」の場合は、「不自然だ」「異常だ」といった非難にさらされてきました。今でも、病人扱いするだけでなく、犯罪者として裁く国もあります。  
 でも、「不自然」だなんて、自然界に失

礼な話です。自然界というのは、もともと多様性を生み出すもの。そこに「いい」とか「悪い」とかの価値観を持ち込むのは、人間です。「なるほど！知らなかったけど、そういうのもあるんやね」みたいな態度が社会の基本になれば、いいですよね。  
 「数が少ない」といつても、ひとクラスに1〜2人はいるものです。学校や職場の知り合いで当事者を一人も見ただことがないというのはいないのではなく、隠れた存在になつていくことです。誰にだって秘密はあるものですが、誰が好きだということを親しい友人にさえ話せないという状況は、その人を取り巻く環境がつくるものです。仮にあからさまな差別・偏見を経験し

### カミングアウトは信頼の証

—もし、カミングアウトされたらどうしたらいいですか？  
 他の誰にでもなく「あなた」に話してくれたという、その事実の重みを受け止めてください。その時にどうすればいいかは、自分が何かを初めて伝える場面を想像してみてください。驚かれるのはいいとして、否定されるのは嫌いですよね。また逆に、「ふーん、それで？」と軽くあしらわれるのもNG。最悪なのは、信頼して伝えた内容を勝手に言いふらされること。もし、わか

### 正しい知識を得ること以上に、知るうとする態度が大切

—いろんな性を持つ人が、それぞれ自分らしく生きる社会にするために、私たちができることは？  
 よく「正しい理解を！」と言われるますが、正しい知識よりも大切なのは、知ろうとする態度と行動だと思います。性については、私にもわからないことがたくさんあります。それでいいんです。そもそも知識や情報の「正しさ」は、社会によって、時代によって変化しますから。知識や情報を得

て終わりではないし、知ることによって傍観者ではいられなくなる人も増えてくるはず。また、そういう人たちが増えることで、社会は変わっていくと思います。  
 —「アライ」といわれる人たちのことですか？  
 「アライ」という言葉を辞書でひくと、「同盟国・同盟者・盟友・味方」という意味が出てきます。「サポーター／支援者」というと、その対象となる「当事者」がいて、彼らが主体的に発言・行動するのを支援する立場であることが強調されます。一方の「アライ」というのは、LGBTなどが直面する問題について、自身が主体的に発言・行動していく人のことです。実は、「L」と「G」と「B」と「T」だって、それぞれがそれぞれに「アライ」なんです。よね。異なる固有の問題に直面しながら、それでもなお問題の共通基盤を見出し、連帯していきこうと決めて行動しているわけですから。

自分らしく生きていくためには、自分について、悩みについて、いろんな人に語れる社会が必要です。カミングアウトに勇気や覚悟がいらぬ社会を創っていきましょう。  
**—ありがとうございます。**



**ひがし・ゆうこ** 大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科教授。博士(人文科学)。World Association for Sexual Health性の権利委員会・共同委員長、GID(性同一性障害)学会・理事、一般財団法人日本児童教育振興財団日本性教育協会・運営委員、思春期学会・評議員、一般財団法人大阪府人権協会・評議員、特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ・理事など多数の役員を務める。早稲田大学卒。ハワイ大学大学院・お茶の水女子大学大学院修了。ノートルダム清心女子大学を経て、現職。LGBTの他、エイズ、女性、性と健康などをキーワードとする講演も多数行っている。





# 12月4日～10日は人権週間です。

人権週間は、国連で昭和23(1948)年12月10日「世界人権宣言」が採択されたことを記念して定められたものです。人権とは私たちが幸せに生きるための権利で、人種や民族、性別などの違いを超えて一人ひとりに備わった権利です。これを機会に私たち一人ひとりが人権の尊さ、命の大切さについて考え、すべての人の「人権が尊重されるまち」をみんなで築いていきましょう。

『あなたはどんな人？何よりもあなたがどう考えるかが大切』

平成27年度人権に関する作品募集事業キャッチコピー(一般の部)優秀賞 田畑海渡さん



## 特設人権相談所を開設します

日常生活の中で生じるさまざまな人権問題について、人権擁護委員が無料で相談に応じます。秘密は厳守します。当日直接会場へお越しください。

**日時** 平成28年12月5日(月) 10:00～16:00

**会場** 市役所本庁舎1階 市民相談室  
(最寄駅：地下鉄・京阪 京阪本線「淀屋橋」駅 1番出口)  
(最寄駅：京阪 中之島線「大江橋」駅 6番出口)

**対象** 市内在住・在勤・在学の方

### 人権擁護委員とは？

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて地域住民の中から広く社会の実情に通じ、人権擁護に理解のある方を市町村長が推薦し、法務大臣が委嘱した民間ボランティアです。

様々な分野の方が、人権相談を受けたり人権の考えを広めるなど、積極的に人権擁護活動を行っています。

**問い合わせ** 大阪第一人権擁護委員協議会

☎06-6942-9496 ☎06-6943-7406

12月10日から12月16日は、

## 「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です

国民的課題である拉致問題の解決をはじめ、北朝鮮当局による人権侵害問題は、国際社会を挙げて取り組むべき課題です。私たち一人ひとりがこの問題についての関心と認識を深めていくことが大切です。

詳しくは…

- 政府拉致問題対策本部ホームページ  
「北朝鮮による日本人拉致問題」  
(<http://www.rachi.go.jp/>)や
- 大阪市ホームページ  
「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」ページ  
(<http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000376862.html>)をご覧ください。

### 拉致問題啓発舞台劇公演

## めぐみへの誓い—奪還—

市民のみなさまの北朝鮮による拉致問題への認識、理解を深め、拉致問題の悲劇を心から理解していただくため、大阪市、大阪府、政府拉致問題対策本部の共催により舞台演劇を上演します。

**開催日** 平成29年2月18日(土)

14:00～16:30

**場所** エル大阪(大阪府立労働センター)  
(大阪市中央区北浜東3-14)

詳しくは…

- 大阪市ホームページ  
「拉致問題啓発舞台劇公演 めぐみへの誓い—奪還—」  
(<http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000379127.html>)をご覧ください。

## 犯罪被害への理解を深めましょう

犯罪の被害にあわれた方や、その家族・遺族の方(犯罪被害者等)は生命を奪われる、家族を失う、傷害を負わされる、財産を奪われるといった被害に加えて、大きな精神的被害も負うという実態があります。



犯罪被害者等支援シンボルマーク  
ギョuttoちゃん

また、捜査や公判等の過程においてもさまざまな負担がかかり、時には配慮に欠けた対応により、さらに傷つけられてしまうことや、周囲の好奇の目、誤解に基づく中傷、無理解な対応や過剰な報道等による二次的被害を受けることにより、孤立感・不信任感・無力感を強く抱くこともあります。

犯罪被害者等が、被害から立ち直り、地域において再び平穩に暮らせるようになるには、地域の人々の理解と配慮、協力が重要です。

大阪市では、「犯罪被害者等支援のための総合相談窓口」を設置し、犯罪被害者等からの相談を受け付けています。

また、犯罪被害者等への市民の理解を深めていただくため、大阪府・堺市・大阪府警察などの関係機関や、民間支援団体である大阪被害者支援アドボカシーセンター\*等と連携して、さまざまな啓発活動を行っています。

\*認定NPO法人 大阪被害者支援アドボカシーセンター  
大阪府公安委員会より犯罪被害者等早期援助団体に指定されており、電話・面接相談、警察・裁判所・医療機関等への付添い、代理傍聴等の支援を行っています。  
電話相談/月～金(祝日・年末年始を除く)10:00～16:00  
☎06-6774-6365

### 犯罪被害者等支援のための総合相談窓口

大阪市市民局ダイバーシティ推進室人権企画課  
(大阪市役所4階北側)

**相談時間** 9:00～17:30(土日・祝日・年末年始を除く)

☎06-6208-7619 ☎06-6202-7073